陳情第１０号

常勤特別職員の報酬を削減しその経費を市民が緊急に必要としている新型コロナ対策にあてることを、議会で決議することを求める陳情書

（陳情の要旨）

新型コロナ感染症対策に各自治体の特別職は自らの報酬を削減し（臨時的処置、）歳費削減による経費を市民のための感染症対策に使っている。

近隣では鎌ヶ谷元市長、我孫子市長、野田市長などである。さらに熊谷千葉県知事は県議会においても削減を決定し、前千葉市長時代にも削減した。

多くの首長は自らの意思によって削減している。流山市長は千葉県市長会会長に今年就任され、ますます重責を背負われ，その政治的姿勢は周囲の衆目を浴びているところである。

そろそろ手をこまねくのではなく、至誠一貫、知行合一および惻隠の情をもって流山市民２０万に寄り添ったうえで自らの報酬を削減すべきである。

また、流山市はワクチン接種で著しく遅れをとり市民は少なからず不安の渦に巻き込まれた。ここで市長がコロナ対策に覚悟をみせ、感染を拡大をを具体的に解決する立場を市民に示すことは「コロナの危機で暗中模索している」市民に一条の光を見せることになる。多くの世界の優秀な指導者は自らの体験や行動をもって、国民に示し、信頼をえてきた。しかしながらいまだに市長によるその兆しを、多くの市民は見ることができない。そこで２元代表制における流山市議会に次のことを求めるものである。

（陳情項目）

１　コロナ感染症の対策の経費の一部に与えるため特別職の報酬の削減を議会で発議して市長に要求してください。(２元代表制として議会の市長に対する抑制機関としての役割を果たしてください。)

２　削減した費用は、感染症対策として例えば市民にわかりやすい具体的なもの（ＰＣＲの全自動検査やパルスオキシメーターなど）の購入等に充ててください。

現在流山市の感染者の増加は爆発的ではあるが、検査が十分に行われていない。特に市役所、学校、保育園などの公共施設の職員の検査が不十分なのは重大な問題である。

また、発熱不安があっても相談もできない感染者予備軍もかなりいる。基礎疾患を持つ市民などに市でパルスオキシメーターなどを貸し出すことも感染症対策では有効と思われる。

令和３年８月１８日


陳情者

[redacted]

ｌｏｃａｌ　ｇｏｖｅｒｎｍｅｎｔ　ｏｆ　ｔｈｅ　ｐｅｏｐｌｅ，　ｂｙ　ｔｈｅ　ｐｅｏｐｌｅ，　ｆｏｒ　ｔｈｅ　ｐｅｏｐｌｅ

［市民の，市民による，市民のための地方自治をめざす流山市民ネットワーク］事務局

[redacted]


流山市議会議長　森　亮二　様